

結果の要約

1 職業

福井県の15歳以上就業者数(423,959人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が149,946人(15歳以上就業者数の35.4%)と最も多く、次いで「事務従事者」が75,431人(同17.8%)、「専門的・技術的職業従事者」が53,801人(同12.7%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が3,859人(10.6%)増、「保安職業従事者」が521人(10.6%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が1,915人(15.2%)減、「生産工程・労務作業者」が13,096人(8.0%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が38.2%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が33.0%、「販売・サービス関係職業」が23.3%、「農林漁業関係職業」が4.8%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.1ポイント、0.3ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」が1.8ポイント低下している。また、「農林漁業関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.8時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.4時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.3時間、「管理的職業従事者」が44.9時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が0.3時間増、「農林漁業作業者」が0.1時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が2.0時間減、「販売従事者」が1.5時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が115,086組(夫婦数211,141組の54.5%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が49,120組(同23.3%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が18,866組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の16.4%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業者」、妻が「事務従事者」である夫婦が11,859組(同10.3%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は73,755世帯(住宅に住む一般世帯260,880世帯の28.3%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は187,125世帯(同71.7%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が73,573世帯(同28.2%)、「女性のみ」の世帯が27,432世帯(同10.5%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が15,174世帯(同5.8%)となっている。

図1 福井県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

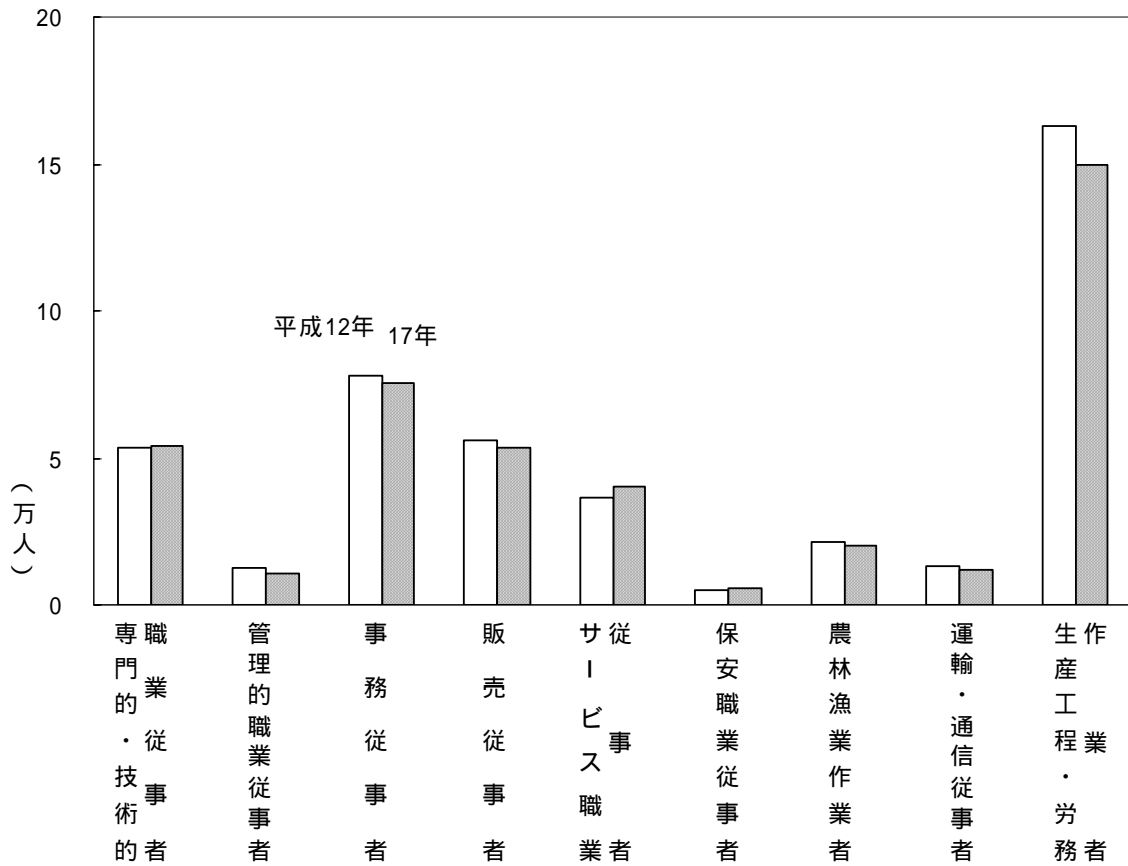


図2 福井県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

